

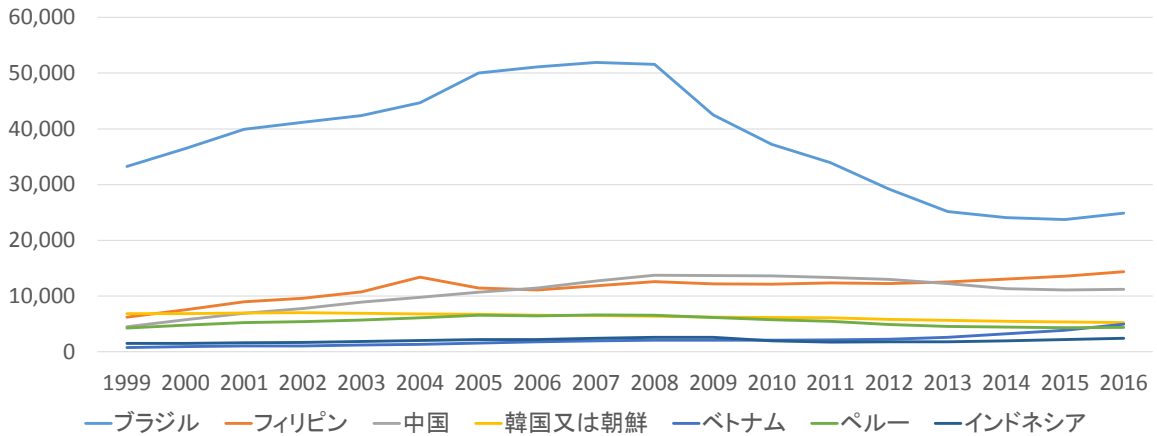
地域社会における外国人の生活と居住

竹ノ下弘久（慶應義塾大学）
アンケート結果から見える多文化共生の最前線
2017.10.24@静岡県教育会館

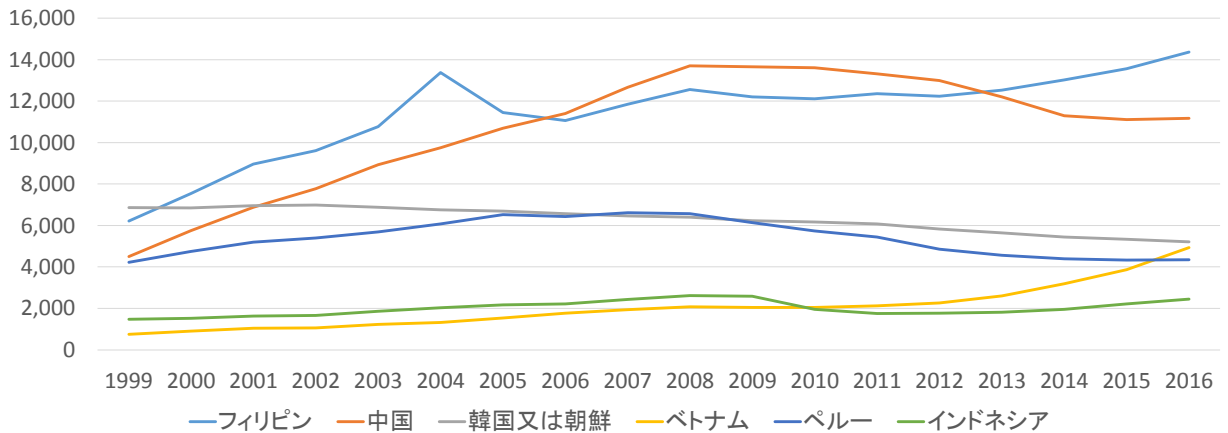
近年の国籍別人口の推移

- 2000年代後半の経済危機→中南米出身の日系人がブラジル・ペルーといった出身国に帰国
- 静岡県内のブラジル国籍の居住者は大きく減少
- フィリピンとベトナムが増加
- 中国は、近年減少傾向

静岡県内の外国人居住者数



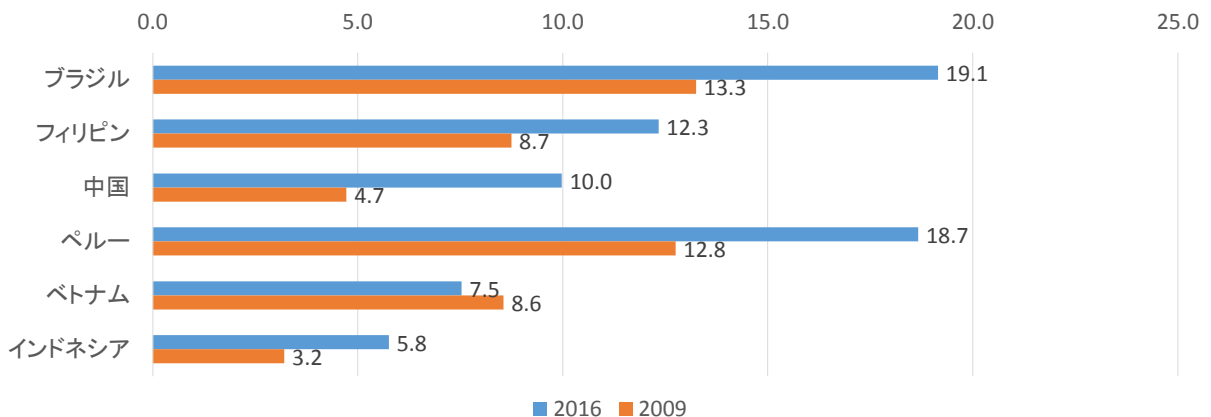
静岡県内の外国人居住者数 (ブラジル人以外)



問題意識

- 2008年の経済危機を境に、静岡県外国人人口の構成に大きな変化
- 日系人：短期滞在予定の人が帰国。永住や長期滞在予定の人が残る
- 今回の結果では、外国人住民の定住化傾向がより鮮明になる可能性も
- その上で、定住化が進展してもなお、どのような点で外国人住民は生活に困難を感じているのか把握する必要

通算滞在年数の比較（2009年と2016年）



滞在年数にみる外国人住民の多様化

- 定住・永住を前提とするグループ:

日系人、永住者、結婚移民(日本人との国際結婚)

- 短期滞在を前提とするグループ: 技能実習生

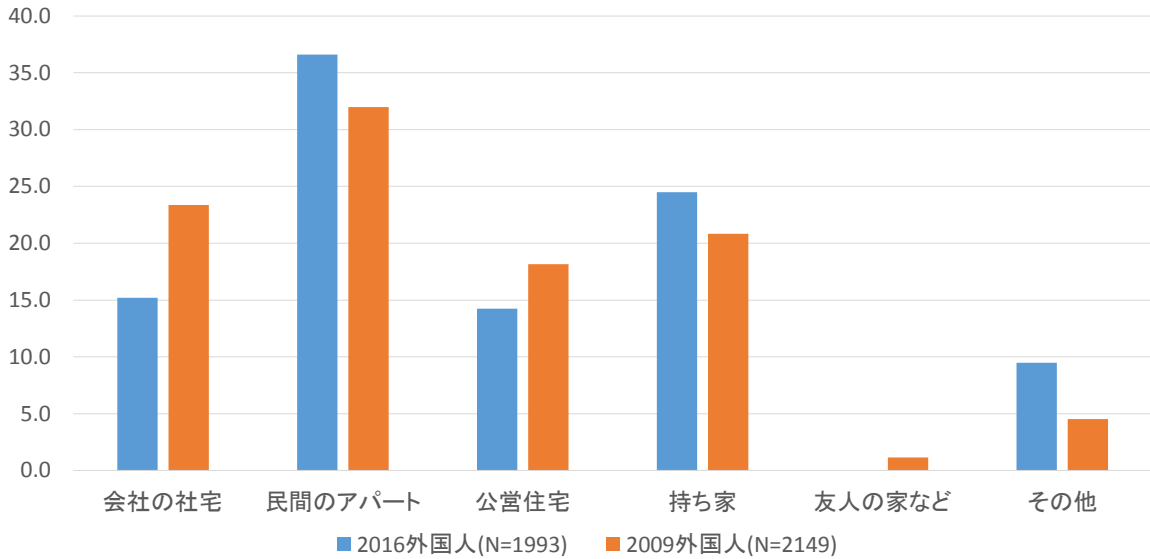
- 両者の中間: 専門職の外国人住民?

住居からみる定住化傾向

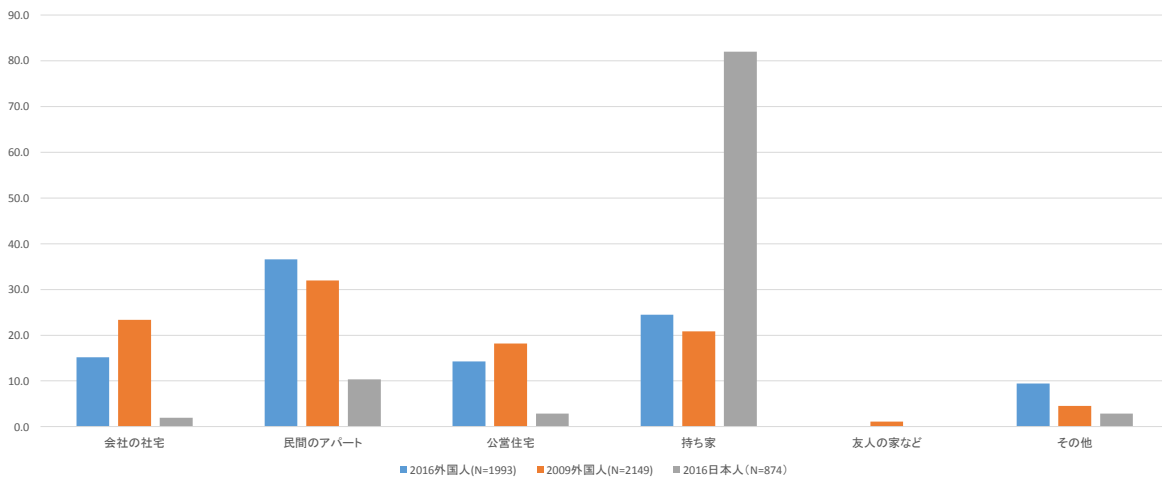
- 仮説

定住化の進展は、外国人住民の住宅取得を促進し、持ち家率の増加を促す。

外国人住民の住居の状況(2009と2016)



外国人と日本人との住居の比較



住居の結果

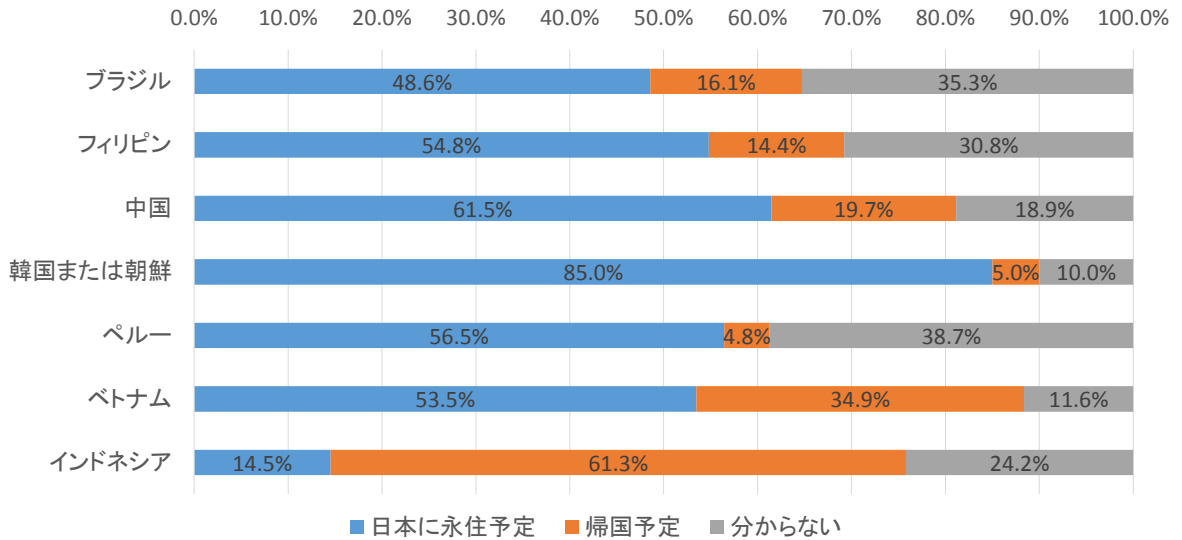
- 外国人住民の持ち家率は増加
- 民間アパート入居者も増加
- 会社の社宅と公営住宅入居者は減少
- 日本人と比較すると、日本人は圧倒的に持ち家率が高い。
- 日本人との持ち家率の格差はなお大きい。

今後の滞在予定

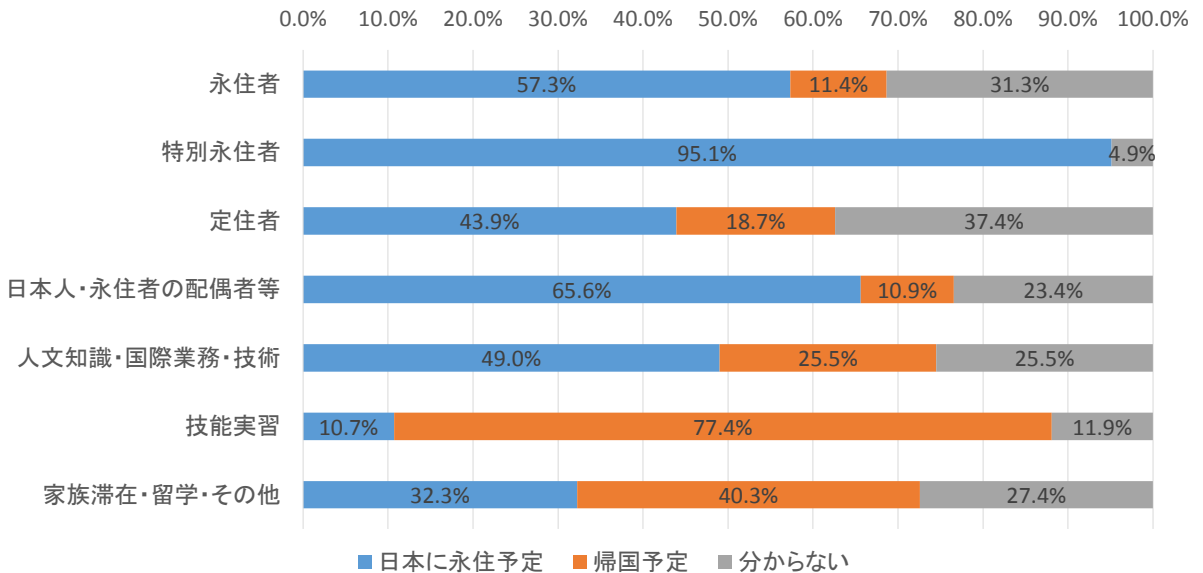
2016		2009	
日本に永住するつもり	53.1	日本に住み続ける予定	34.8
今後10年以上	5.7	3年以内に母国に帰国予定	14.7
今後3年以上10年未満	4.1	10年以内に母国に帰国予定	4.7
今後1年以上3年未満	6.8	いずれは母国に帰国予定	34.4
今後1年未満	1.9	母国と日本以外の国に行く予定	1.0
あとどれくらい日本で生活するかわからない	28.4	わからない	10.4
N	1180	N	2091

永住予定が大きく増加。およそ半数が日本に永住予定。3割弱が、よく分からないと回答。

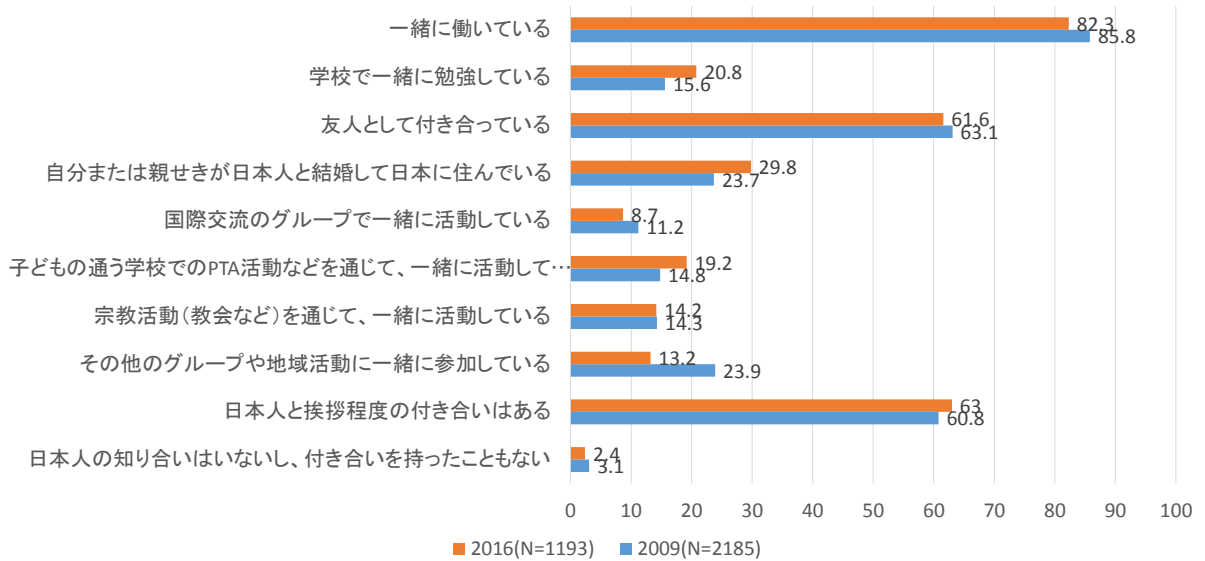
国籍と今後の滞在予定



在留資格と今後の滞在予定

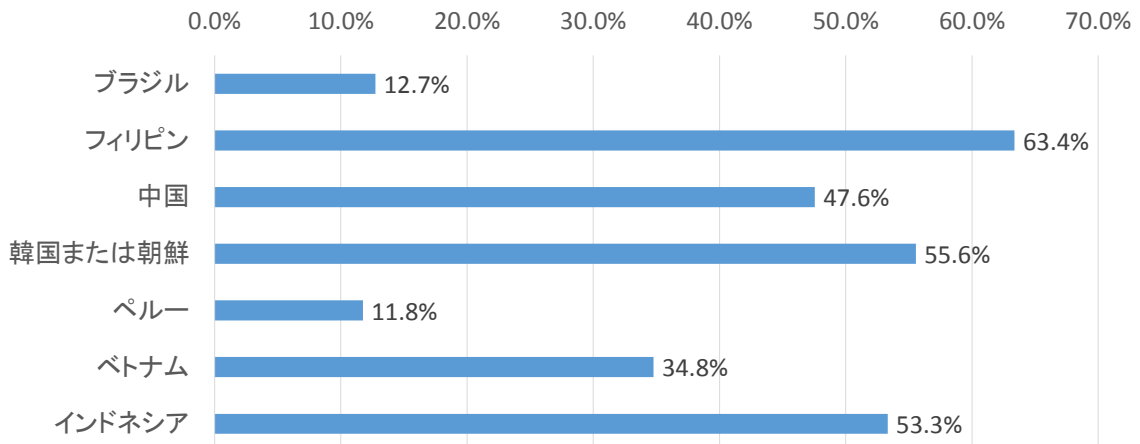


日本人との付き合い: 時点間で大きな変化なし



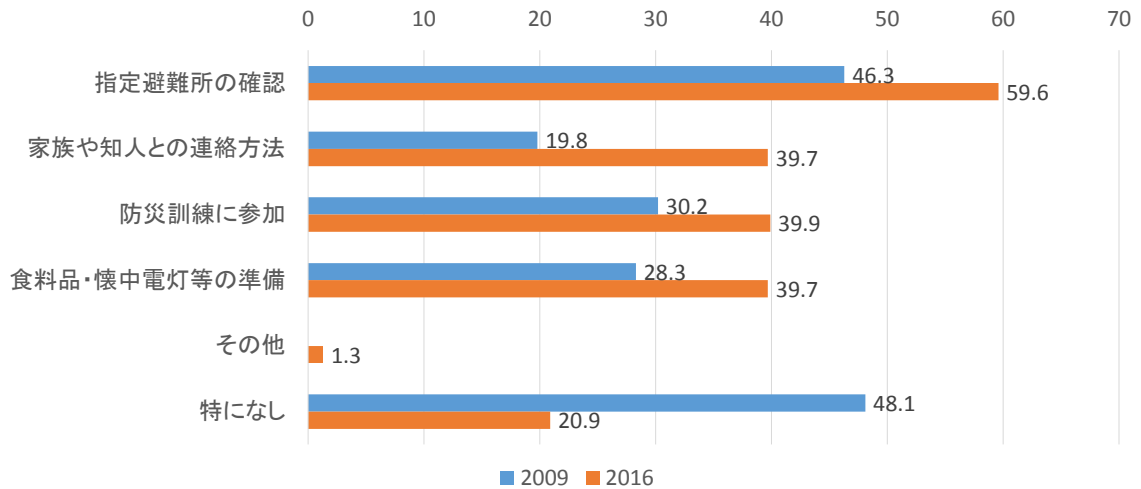
日本人との婚姻

・配偶者の国籍で、日本という回答 23.6% (2009) → 34.6% (2016)

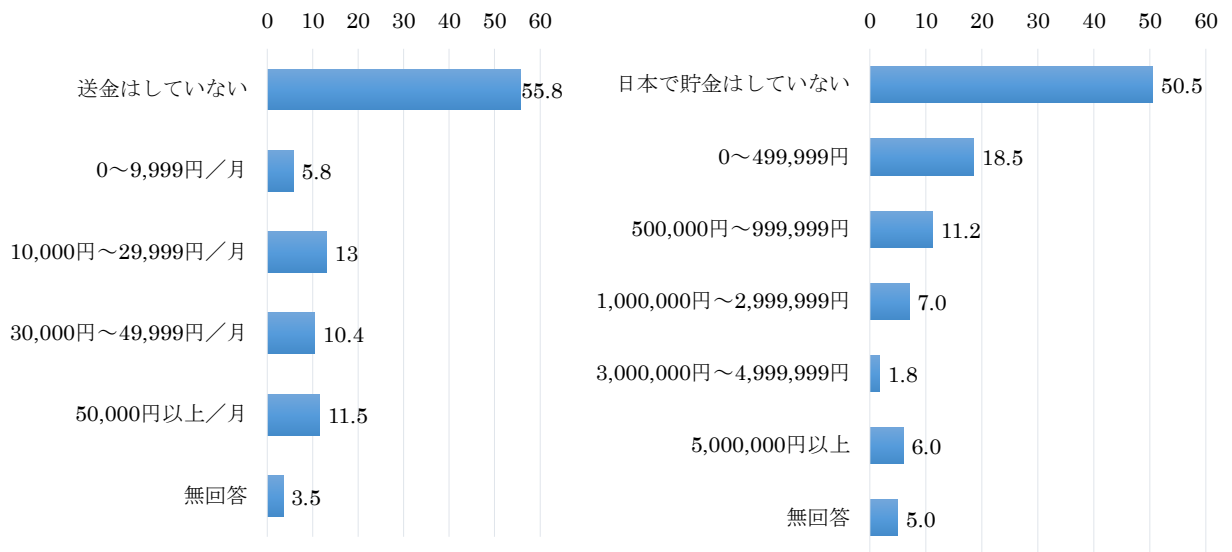


防災対策

- 東海地震の認知: 2009年 87.0% → 2016年 84.0% わずかに減少。
- 防災への準備・対策は、以前よりも増加。



母国への送金と日本での貯蓄



送金と貯蓄との関係

		日本での貯蓄額（世帯全体）			合計
		日本で貯金はしていない	0～999,999円	1,000,000円以上	
母国の家族への送金額 （過去3か月の平均）	送金はしていない	361	64	101	526
		68.6%	12.2%	19.2%	100.0%
	0～29,999円／月	73	19	19	111
		65.8%	17.1%	17.1%	100.0%
	30,000円以上／月	62	19	24	105
		59.0%	18.1%	22.9%	100.0%
合計		496	102	144	742
		66.8%	13.7%	19.4%	100.0%

滞在年数と貯蓄・送金

		日本での貯蓄額（世帯全体）				平均）			合計
		日本で貯金はしていない	0～999,999円	1,000,000円以上	合計	送金はしていない	0～29,999円／月	30,000円以上／月	
滞在年数	5年未満	102	30	22	154	87	22	39	148
		66.2%	19.5%	14.3%	100.0%	58.8%	14.9%	26.4%	100.0%
	5年～10年未満	71	11	26	108	82	23	12	117
		65.7%	10.2%	24.1%	100.0%	70.1%	19.7%	10.3%	100.0%
	10年～15年未満	104	27	29	160	95	30	41	166
		65.0%	16.9%	18.1%	100.0%	57.2%	18.1%	24.7%	100.0%
	15年～20年未満	103	24	32	159	115	30	20	165
		64.8%	15.1%	20.1%	100.0%	69.7%	18.2%	12.1%	100.0%
20年～25年未満	108	19	27	154	122	34	8	164	
	70.1%	12.3%	17.5%	100.0%	74.4%	20.7%	4.9%	100.0%	
25年以上	107	21	38	166	157	16	15	188	
	64.5%	12.7%	22.9%	100.0%	83.5%	8.5%	8.0%	100.0%	
合計		595	132	174	901	658	155	135	948
		66.0%	14.7%	19.3%	100.0%	69.4%	16.4%	14.2%	100.0%

滞在年数の長期化→出身国への海外送金の減少。しかし、滞在年数の増加は、貯金額の増加とは結びついていない。

今後の滞在予定と貯蓄・送金との関係

		日本での貯蓄額（世帯全体）			合計	平均）			合計
		日本で貯金はしていない	0～999,999円	1,000,000円以上		送金はしていない	0～29,999円／月	30,000円以上／月	
今後の滞在予定	日本に永住予定	291	65	123	479	396	79	49	524
		60.8%	13.6%	25.7%	100.0%	75.6%	15.1%	9.4%	100.0%
	帰国予定	105	33	22	160	85	25	49	159
		65.6%	20.6%	13.8%	100.0%	53.5%	15.7%	30.8%	100.0%
	わからない	206	35	30	271	182	49	39	270
		76.0%	12.9%	11.1%	100.0%	67.4%	18.1%	14.4%	100.0%
合計		602	133	175	910	663	153	137	953
		66.2%	14.6%	19.2%	100.0%	69.6%	16.1%	14.4%	100.0%

両者には明確な関係。日本に永住予定ほど、日本で貯金し、海外への送金はしていない。

まとめ

- 全体的な定住化傾向が顕著。
- 中南米の日系人は、短期滞在予定者が多く帰国。対象者全体としては、日本に永住予定の人が多くなった。
- しかし、滞在予定を国籍別にみると、ブラジル・ペルーでは、回答者のおよそ半数以下が、日本での永住を予定。
- 中国・フィリピンは、中南米よりも定住志向が強い。
- アジア系は、日本人との婚姻が増加。
- 防災についても、以前より防災対策する人が増加。
- 日本への永住の決意は、貯蓄を促し、海外送金を減少させた。